

ロードマップ

3～21歳の障害のある子供を持つ家族のため
ロードトリップの準備



i

-トリップに必要な情報については、これらのアイコン全てをクリックしてください。



リンクが近日公開!



6～8年生 **i**

学区は学校の進路助言政策に基づき、中退の危険性がある生徒のために、成功する計画を策定する必要があります。

1

2

3

9年生

学区は次のことを行う必要があります:

- 9年生から12年生までに登録する、全生徒の卒業計画を策定し維持します **i**
- 生徒が高校卒業証書を取得できない危険性があると、毎年親に通知します **i**

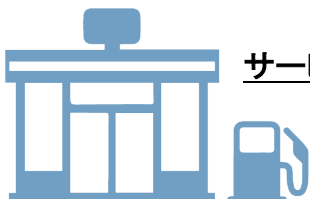
4

14歳になる **i**

学区は当て嵌まる場合、必要に応じて14歳以下になると有効になる、個別指導計画(IEP)において移行計画を作成する必要があります。障害を持つオハイオ州の人は、障害を持つオハイオ州の人のための機会と共に、職業リハビリサービスを申請する資格があります。

5

サービスプラザ1



サービスプラザ2

16歳 **i**

子供が郡による発達障害委員会のサービスを受けている場合は、この時点で適格性が審査されます。

17歳 **i**

学区は子供が18歳になるとあなたとその子供に、子供への権利の移転について通知する必要があります。

6



18歳 **i**

生徒はIEPの承認など、保護者が過去に行った法的また教育的な選択をする権利と責任があります。

7

子供が高校の目的地点に到着しました **i**

学区は実績の概要を提供する必要があります。

8

22歳 **i**

オハイオ州における障害者教育法(IDEA)に基づく、無料の適切な学校教育(FAPE)の資格はもはやありません。

ロードマップ

3～21歳の障害のある子供を持つ家族のため



ロードトリップの準備

スーツケースで荷物をまとめる必要性

他の良いトリップと同様に、計画は望むことをより多くするのを助け、乗り物を楽しむのを助けることができます。あなたの「移行スーツケース」には、あなたと子供が高校卒業後の生活に備えるのを助けるための多くのウェブサイト、リソース、またツールがあります。移行の準備をする時は、スーツケースとこの移行ロードマップを使用して、移動の際に役立つ情報を参照してください。この移行ロードマップに従って、子供の卒業ならびに中等後の生活への移行について十分な準備をしておく必要があります。

- [代理店ナビゲーションツール](#) — 代理店ナビゲーションツールは、青少年の成人期への移行時に関与する可能性ある重要な代理店に関する、基本的な情報を提供するリソースです。このツールは若者、その家族、学校、ならびに代理店に役立ちます。
- [保護者のための進路連結フレームワークガイド](#) — 進路連結フレームワークは、家庭において家族が進路連結に影響を与え、構築できるように助けるための案内です。
- [ライフコースのチャート作成](#) — ライフコースのチャート作成フレームワークは、障害者とその家族によって、考え、構想、また目標を整理し、問題を解決し、探索し、支援を提唱するために使用されるツールの集りです。
- [障害給付金 101](#) — 障害給付金 101 は雇用、医療保障、また福利厚生に関するツールと情報を提供します。個人は仕事と利益がどのように両立するかを学ぶことができます。
- [早期移行計画](#) — 早めに家族やパートナーが、成人について考え始めれば始めるほど、将来のことに対する準備ができます。このサイトでは充実した大人の生活がどのようなものか、考え始めるのに役立つよう、若い学習者を積極的に参加させるためのリソース、支援、また活動を調べてください。
- [保護者メンター](#) — オハイオ州の保護者メンターは、子供のための特別な教育過程とサービスを理解するために、家族を支援するべく利用できます。Ohio State University と Ohio Department of Education のオハイオ州保護者メンタープロジェクトのウェブサイトでは、オハイオ州の保護者メンターの地図、特殊教育の過程を見て進むのに役立つビデオとツール、自宅で学習するためのリソースを見ることができます。
- [障害を持つ子供の教育に関するオハイオ州の連合](#) — 障害を持つ子供の教育に関するオハイオ州の連合 (OCECD) は、オハイオ州の障害を持つ幼児、小児、子供、また若者の家族、教育者、および彼らにサービスを提供する機関に、貢献する州全体の非営利団体です。
- [Ohio Department of Education State Support Teams](#) — 州全体のサポートシステムの一部として State Support Team は、オハイオ州の子供が質の高い教育を受けられるようにするため、継続的な改善プロセスを通じて学校、家族、地域のパートナー、また部門と協力しています。
- [ライズアップ](#) — ライズアップはオハイオ州障害者の権利 (DRO) によって、14 歳から 21 歳に移行する若者のために開発されたガイドです。このガイドには成人になるにつれて個人が経験する可能性のある状況に関する、有用な情報があります。
- [安定した口座](#) — 安定した口座とは、障害者が利用できる投資口座のことです。安定した口座を使用すると、メディケイドや追加のセキュリティ収入 (SSI) のような、特定の公共福利厚生プログラムの資格を失うことなく、お金を節約して投資できます。あなたの安定した口座の収入は、[適格な障害費用にそれらを使用する限り、連邦所得税の対象ではありません](#)。
- [Statewide Family Engagement Center](#) — Ohio Statewide Family Engagement Center では、K-12 の生徒の教育的成功を支援するために生徒、保護者、介護者、学校リーダー、また地域のパートナーが互いに積極的に魅力的な関係を築くことができます。

ロードマップに戻る



子供は幼稚園—5年生です

自分が子供の人生に何を望んでいるかについて考え、話し始めるのは決して早過ぎることはありません。

- EI として知られる早期介入は、発達遅延や障害を持つ 3 歳未満の適格な子供の親のために調整された、サービスを提供する州全体のシステムです。EI はサポートの「成長への支援」システムの一部です。発達障害者のためのこれらサービスとサポートは、地域の **County Board of Developmental Disabilities (CBDD)** によって郡レベルで提供されます。CBDD は適格性を判断し、あなたの必要性を評価し、最も支援できるサービスを調整します。[早期介入適格性](#)の詳細については、このリンクをクリックしてください。
- **Ohio Department of Education** は幼い年齢における子供の教育を支援するために、さらに幼児期のロードマップを作成しています。この新しいリソースを表示するには、数ヶ月後に部署のウェブサイトを参照してください。
- **Ohio Department of Education** には、[早期移行計画](#)における家族と学校を支援するツールがあります。例えば、[ライフコースのチャート作成](#)などのツールは、家族が移行について話し始めるのを助けることができます。



子供は 6～8 年生です

- [生徒成功計画](#)は、生徒とその家族が進路目標達成のための学業要件を理解できるよう支援するためである、生徒中心のプロセスです。子供が学校を中退する危険性がある場合、子供の学区は、子供のための生徒成功計画を作成する必要があります。
- 学区が生徒成功計画を作成する前に、子供の学区は計画の作成を支援するためのミーティングにあなたを招待する必要があります。学区はさらに子供の生徒成功計画が開発された後、あなたと共有する必要があります。

[ロードマップに戻る](#)



子供は 14 歳になります

- 子供の学区は、子供のための移行計画、[個別化教育プログラム\(IEP\)](#) 第 5 節を作成する必要があります。
- 子供の学区は、[年齢に応じた移行評価\(AATA\)](#)を通じて子供に関する情報を収集します。この情報には子供の好み、興味、ニーズ、ならびに強みが含まれます。この情報は、PINS と呼ばれることがあります。
- 子供の学区では、AATA プロセスを通じて収集した情報を利用して、移行計画を作成する必要があります。子供の移行計画には、以下の情報が含まれます。
 - 移行サービス、
 - 学習のコース、
 - 訓練と教育に関する中等教育後の目標、
 - 独立した生活能力に関連する二次的な目標(該当する場合)、
 - また二次的な目標は、競争力のある雇用に関するものです。



子供は 9 年生になります

- 9 年生から卒業まで、子供の学校は子供と一緒に(その過程に参加して)[高校卒業計画](#)を立てるようになっています。
- 生徒が高校を卒業するには多くの条件があります。卒業計画はそれら要件を満たすために、あなたの子供が何を必要があるかを計画する必要があります。計画は毎年更新されるので、卒業要件を満たすためにあなたの子供の成功(または無いこと)を記録する必要があります。子供が 1 つ以上の要件を満たしていないために卒業できない危険性がある場合は、学区から通知を受ける必要があります。

[ロードマップに戻る](#)

ロードマップ

3～21歳の障害のある子供を持つ家族のため



サービスプラザ 1

最初のサービスプラザには、14歳前後の子供にとって特に重要な情報が掲載されています。最初のリンクでは、年齢に応じた移行評価(AATA と呼ばれることがある)のための計画ガイドに移動します。年齢に応じた移行評価は、子供が人生の目標を達成するのに役立つ知識とスキルを育てるために必要な教育、訓練、また支援を受けられるようにするために重要です。2番目のリンクであるインジケータ 13 チェックリストでは訓練、教育、雇用、また独立した生活能力の分野で、あなたと子供の個別化教育プログラム(IEP)チームが適切な後期中等教育目標があるかどうかを判断するために案内できる質問を提供します。これらの道具は、子供が高校卒業後の生活に備えている時に、あなたの子供を支援するのに役立ちます。

- [年齢に応じた移行評価計画ガイド](#)
- [インジケータ13チェックリスト](#) — (リンク先)



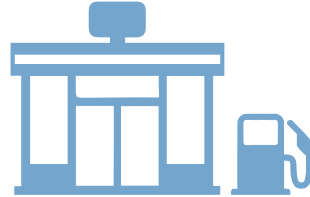
子供は 16 歳です

- 子供が 16 歳になると、郡の発達障害委員会の下でサービスを受ける資格があった場合、資格はもはや、子供のオハイオ州適性決定方法(COEDI)に基づいていません。子供の適格性は現在、オハイオ州適性決定方法(OEDI)によって決定されています。子供がこれらのサービスを受けていて、継続したい場合は、[OEDI ユーザーガイド](#)がその過程を支援します。

[ロードマップに戻る](#)

ロードマップ

3～21歳の障害のある子供を持つ家族のため



SERVICE PLAZA 2

2 つ目のサービスプラザには、オハイオ州の ID と運転免許証の取得に関する情報を提供する 2 つのリンクがあります。写真の ID カードは本人確認のみを目的としており、子供が行方不明になった場合に、子供の所在を特定するのに注意してください。オハイオ州の住民登録証に最低年齢はありません。臨時運転免許証は 15 歳半で取得でき、運転免許証を保有してから 6 ヶ月後に仮運転免許証を取得することができます。

- [州ID](#)
- [運転免許証](#)



子供は 17 歳です

- 過半数の年齢は、個人が成人と見なされる年齢です。オハイオ州の過半数の年齢は 18 歳です。
- 子供が成年に達する少なくとも 1 年前に、学区は 18 歳で子供に IDEA の権利が移転することを、あなたと子供に知らせなければなりません。子供の IEP は、あなたと子供が権利について知らされていることを示す必要があります。あなたの学区は、必要に応じて 18 歳で子供を継続的に支援する義務があります。

[ロードマップに戻る](#)



子供は 18 歳です

- 子供は、自分自身のために特定の法的ならびに教育的な選択をする権利と責任を持っています。



子供が高校の目的地点に到着しました

子供は大人の旅に出る準備ができています。子供のスーツケースは、トリップを通して支援するための資源でいっぱいです。

- 子供が高校を卒業または退学した場合、子供の学区では、[子供の学業ならびに機能的な成果の概要](#)を提供する必要があります。この要約には、子供が中等教育後の目標を達成するのに役立つ推奨事項も含める必要があります。
- あなたは子供が提供された推薦に向かって前進するのを助けることで、子供の中等教育後の目標の成功を支援できます。



子供は 22 歳です

- 子供は障害者教育法 (IDEA) に基づき、無料の適切な公教育 (FAPE) を受ける資格がなくなりました。子供が学年中に 22 歳になると、学区政策によって子供が学区と一緒に学年を終えることができるか否かが決まります。

[ロードマップに戻る](#)